

米軍のC V 2 2 オスプレイの墜落事故に関する意見書

令和5年11月29日に鹿児島県屋久島沖合において米軍横田基地に所属するC V 2 2 オスプレイ1機が墜落した。この事故でお亡くなりになった方の御冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、御遺族並びに関係者の皆様に対し哀悼の意を表する。

今回の事故は、一步間違えれば市民及び県民を巻き込む大惨事となる可能性もあった。その衝撃は大きく、不安と恐怖は計り知れないものがある。

また、今回の墜落事故の原因が不明なまま一週間以上も飛行を停止しなかったことは遺憾であり看過できない。

よって、うるま市議会は市民の生命・財産を守る立場から、米軍横田基地所属のC V 2 2 オスプレイの重大な墜落事故と米軍のオスプレイ飛行に対して厳重に抗議するとともに、下記事項について強く要請する。

記

1. 事故原因を究明し有効な再発防止策が講じられ、また安全性が確保されるまで、継続して全てのオスプレイの飛行を停止すること。
2. 事故原因の徹底究明、関連情報の公開を速やかに実施すること。
3. 事故発生時には迅速かつ正確な情報提供を行うこと。
4. 普天間飛行場を固定化せず、一日も早い閉鎖・返還を実現すること。
5. 日米地位協定の抜本的改定を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和5年12月13日

沖縄県うるま市議会

あて先

内閣総理大臣 外務大臣 防衛大臣 沖縄及び北方対策担当大臣
外務省沖縄担当大使 沖縄防衛局長